事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課			■担当係	社会教育係	
■評価事業名称	北上市民大学					
■評価事業コード	400300 - 0	0 - 034 ■会計区分 一般会計				
	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり				
■総合計画での	■基本施策	02 社会	教育の充実			
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実				
■事業の類型	05 ソフト事	/フト事業(任意) ■政策・業務区分 政策				
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画					
■事 業 の 目的と概要	豊かな人生を座	送るため、	学習課題を学ぶ	。一般教養	や専門的な知言	哉を体系的に学ぶ講

2. 細事業の活動実績情報

コード 名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01 北上市民大 市 学	市民		年10回開催 延べ受講者数679人(前年度と同数) 延べ聴講者数111人(前年度と同数)

3. 投入コスト情報

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	529	370	608	518	
人 件 費	4,364	3,681	5,312	5,469	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,893	4,051	5,920	5,987	

(単位:千円)

4. 評価指標等の状況

指コ・	は標 指標名 一ド	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	講座回数	10回	10回	10回	10回	講座回数
03	延受講者数	1,000人	916人	790人	790人	受講生と聴講生の合計
04	1回当たりコスト	489,300円	405,100円	592,200円	598,700円	

事務事業事後評価シート「平成24年度事業]

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]							
05 延受講者1人当たりコスト	4,893円	4,422円	7,494円	7,578円			
5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)							
■日福本代化四	達成状況の分析			問題点•課題等			
─■目標達成状況 ————— 	受講生、聴詞	冓生が減少している	0	講座を受けただけで終わるのでは 学習し続けられるような工夫やはた	なく、受講後も		
○ A. 順調				要。			
│ ○ B. 概ね順調 │							
● C. 遅れている							
┌1. 直接的な受益者の範囲 ──				├3. 国・県・民間との競合関係の有無 ─			
● 不特定多数に及ぶ	●大	きな不利益やリスク	が生じる	○ 類似の事業はない			
○ 特定されるが多数に及ぶ	○ あ	る程度の不利益や	リスクが生じる	● 類似の事業はあるが競合はない			
○ 特定少数に限定される	││○不	利益やリスクは小さ	;iv	○ 類似の事業があり競合する			
─ 4. 事業へのニーズの変化 ──		―5. 施策の改善	需要度(市民意記	^{找調査)} ─ ─6. 施策の優先度(市民意 ────────────────────────────────────	t識調査)—		
○ ニーズが高まっている		○ 順位が高い	١	○ 順位が高い			
◉ ニーズは変わらない		○ 順位が中科	建度	○ 順位が中程度			
○ ニーズが低下している又は	合致しない	● 順位が低し	`	● 順位が低い			
	 性	- -8. 実施主体の代	替性 ———	 ├─9. 経済性・効率性の向上			
○ 先進的またはユニークな事	業である	● 民間委託等の	D拡充は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい			
● 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の	D拡充が十分にす	「能 ⑥ 効率化や改善を図るこ	● 効率化や改善を図ることは十分に可能			
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や第	ミ施主体の移行が	可能 / 効率化や改善の余地が大きい				
┌■今後の方向性							
○ I. 拡充	Ⅳ. 民間活用	・協働事業化					
● Ⅱ. 継続	Ⅴ.廃止•休』	E					
○ Ⅲ. 縮小·要改善	VI. 完了						